



2021年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月16日

上場会社名 株式会社ビューティ花壇 上場取引所 東
 コード番号 3041 URL <http://www.beauty-kadan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 舛田正一
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理本部長 (氏名) 三島まりこ (TEL) 096-370-0004
 定時株主総会開催予定日 2021年9月29日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2021年9月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期の連結業績(2020年7月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期	5,348	0.1	△27	—	100	—	81	—
2020年6月期	5,344	△9.0	△158	—	△149	—	△222	—

(注) 包括利益 2021年6月期 86百万円(—%) 2020年6月期 △222百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年6月期	20.20	—	24.0	4.3	△0.5
2020年6月期	△55.05	—	△50.9	△6.8	△3.0

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期	2,444	430	16.5	99.43
2020年6月期	2,197	343	14.6	79.23

(参考) 自己資本 2021年6月期 402百万円 2020年6月期 320百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年6月期	57	△5	145	976
2020年6月期	1	△78	230	778

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年6月期(予想)	—	0.00	—	6.17	6.17	—	50.0	—

3. 2022年6月期の連結業績予想(2021年7月1日~2022年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	5,600	4.7	50	—	80	—	50	—

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
 新規 一社（社名）— 、除外 一社（社名）—

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2021年6月期	5,076,000株	2020年6月期	5,076,000株
2021年6月期	1,026,552株	2020年6月期	1,026,552株
2021年6月期	4,049,448株	2020年6月期	4,049,448株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年6月期の個別業績（2020年7月1日～2021年6月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期	2,449	△1.7	△88	—	39	—	46	—
2020年6月期	2,490	△10.1	△172	—	△118	—	△202	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年6月期	11.42		—					
2020年6月期	△50.07		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2021年6月期	1,187		332		28.0	82.17		
2020年6月期	1,332		289		21.7	71.58		

(参考) 自己資本 2021年6月期 332百万円 2020年6月期 289百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により経済活動が大きく制限され、企業収益や雇用環境等に大きな影響を及ぼすなど、非常に厳しい状況で推移いたしました。国内外で段階的な経済活動再開の動きが見られるものの、変異ウイルスの拡大やワクチン普及の遅れ等の懸念材料を抱えており、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループはコロナ禍による影響を最小限化するべく各種対策を講じてまいりました。

この結果、当連結会計年度における当社グループの売上高は、ブライダル装花事業を除く各セグメントにおいて前年同期比で増加し、5,348,516千円(前年同期比0.1%増)、営業損失は、業務効率化策の実施により赤字幅は縮小し、27,272千円(前年同期は158,425千円の損失)、経常利益は、助成金収入等の営業外収益があったことから100,428千円(前年同期は149,386千円の損失)、親会社株主に帰属する当期純利益は82,268千円(前年同期は222,937千円の損失)となりました。

なお、前連結会計年度から継続して営業損失を計上しておりますが、当連結会計年度末の現金及び預金の残高は976,362千円であり、当面の間の運転資金が十分に賄える状況にあると考えております。また、当連結会計年度末の自己資本残高は402,620千円であるため、自己資本が著しく脆弱であるという状況にはありません。

セグメントごとの業績は、以下のとおりであります。

(生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、3,060,606千円(前年同期比0.8%増)となりました。厚生労働省「2020年人口動態統計月報年計(概数)の概況」によりますと、2020年の年間死亡者数は1,372千人と推計され11年振りに減少はしたものの、高齢化社会を背景に増加傾向にあります。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、葬儀業の2020年7月から2021年6月までの売上高は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により大幅に減少し、取扱件数につきましては2020年秋以降増加傾向で推移している状況です。

このように葬儀業全体では市場は今後も拡大傾向にある一方で、全国的に進む「家族葬」や「密葬」、「一日葬」等葬儀の小型化とともに単価の下落傾向に加え、上記新型コロナウイルスによる影響への対応が求められる状況となっております。

このような状況の中で、当事業では葬儀の縮小傾向に対応した新たなサービス展開や新商品販売をスタートし徐々に奏功しはじめたものの、コロナ禍による原価高騰が影響し営業利益は243,283千円(前年同期比2.9%減)となりました。

(生花卸売事業)

生花卸売事業は、100%子会社であるマイ・サクセス株式会社において、これまで進めていた業務効率化に加え、当社グループとしての更なる競争力強化を図っておりますが、当期間におきましては、第3四半期の後半には前年同期に自粛されていた国内イベントが持ち直しの傾向にあったことや、その後も総じて前期比では内需が回復基調で推移したことから、売上高は1,593,539千円(前年同期比4.7%増)となりました。東京都中央卸売市場「市場統計情報」(2021年6月)によると、2020年7月から2021年6月までの切花累計の取扱金額は53,827百万円(前年同期比5.4%増)、数量では771百万本(前年同期比1.8%減)と単価は上昇傾向で推移いたしました。

このような状況の中で、当事業では前期に引続き、従来の生花卸売事業(国内流通)と生花祭壇事業とのシナジー追求を図りながら抜本的な物流体系の改革へ向けた取り組みにも注力しつつ、合わせてコロナ禍の影響を最小化すべく利益確保に向けた取引に注力した結果、営業利益は30,573千円(前年同期比68.2%増)となりました。

(ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は、新型コロナウイルス感染拡大により2020年3月以降結婚式の延期が続き、242,850千円(前年同期比27.3%減)となりました。

少子化による結婚件数の減少と、「ナシ婚」ともいわれる婚姻届のみの結婚の増加等により、ブライダル業界の市場規模は縮小傾向にあるものの、晩婚化による結婚式単価の上昇や、ゲストハウス・ウェディングやレストラン・ウェディング等オリジナル挙式志向の高まりを背景に新規参入企業が増加するなど、これまでは大きな市場規模が保持されていましたが、昨今のコロナ禍の影響を受け、同市場規模は大幅な縮小が際立つ結果となりました。

このような状況の中、同事業を請け負う連結子会社の株式会社One Flowerでは、東京・関西・九州エリアにおける新規顧客獲得と商圏拡大、リテール部門でのEC事業や新規事業等による更なる売上増、及び販管費の圧縮・効率化策を実施いたしました。上記コロナ禍による売上減が大きく影響し、営業損失は62,871千円(前年同期は26,966千円の損失)となりました。

(その他)

その他の事業は、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画並びにコンサルタント業務、就労継続支援事業、農業を行っております。当連結会計年度においては、就労継続支援事業については比較的堅調に推移したものの、それ以外の事業についてはコロナ禍の影響により総じて低調に推移したため、売上高は451,519千円(前年同期比0.1%減)、営業損失は8,072千円(前年同期は15,741千円の損失)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ247,631千円増加し、2,444,878千円となりました。これは主に現金及び預金、売掛金の増加によるものであります。

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末に比べ160,675千円増加し、2,013,995千円となりました。これは主に、買掛金、借入金の増加によるものであります。

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ86,955千円増加し、430,883千円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

以上の結果、当連結会計年度末における自己資本比率は、前連結会計年度末の14.6%から16.5%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度に比べ197,441千円増加し、976,362千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において、営業活動の結果得られた資金は57,822千円(前年同期は1,729千円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益96,970千円、減価償却費51,675千円、及び仕入債務の増加28,822千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において、投資活動の結果使用した資金は△5,627千円(前年同期は78,896千円の使用)となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出△12,893千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において、財務活動の結果得られた資金は145,246千円(前年同期は230,707千円の獲得)となりました。これは主に、借入金の純増168,365千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に対するワクチン接種などの感染防止対策が進んでいるものの、変異株による感染拡大と経済活動への影響の長期化が懸念される等、依然として厳しい状況にあり、今後も先行き不透明な状況が見込まれます。

葬儀業界におきましては、通夜を行わない一日葬や告別式も行わない火葬式の増加並びに、上記コロナ禍の影響による葬儀規模の縮小や参列者の減少、プライダル業界におきましては婚礼の実施が一時的に見合わされるなど、いずれも厳しい状況が続くものと考えられる中で、当社グループは新型コロナウイルス感染症拡大を機とした事業環境の大きな変化の波をとらえ、長期的視野での競争優位の創出とともに、更なる強固な事業基盤の構築を進めてまいります。

上記施策により、次期におきましては、売上高5,600,000千円(前連結会計年度比4.7%増)、営業利益50,000千円(前連結会計年度は27,272千円の損失)、経常利益80,000千円(前連結会計年度比20.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益50,000千円(前連結会計年度比38.9%減)を計画しております。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の I F R S（国際財務報告基準）の適用動向等を踏まえ、I F R S（国際財務報告基準）の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当連結会計年度 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	778,921	976,362
売掛金	384,697	464,972
商品	25,010	19,248
仕掛品	7,639	3,438
原材料及び貯蔵品	29,996	39,623
その他	39,084	57,126
貸倒引当金	△9,622	△2,378
流動資産合計	1,255,726	1,558,394
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	646,341	652,785
減価償却累計額	△261,400	△286,441
建物及び構築物(純額)	384,940	366,344
車両運搬具	31,202	31,199
減価償却累計額	△26,972	△29,201
車両運搬具(純額)	4,230	1,997
工具、器具及び備品	149,188	149,584
減価償却累計額	△133,599	△136,151
工具、器具及び備品(純額)	15,588	13,433
土地	221,393	221,424
その他	15,826	15,921
減価償却累計額	△9,498	△10,618
その他(純額)	6,327	5,303
有形固定資産合計	632,479	608,503
無形固定資産		
のれん	11,680	10,011
その他	20,721	7,394
無形固定資産合計	32,401	17,405
投資その他の資産		
差入保証金	52,816	51,945
保険積立金	191,916	187,376
破産更生債権等	19,061	10,769
その他	24,311	21,252
貸倒引当金	△11,467	△10,769
投資その他の資産合計	276,638	260,574
固定資産合計	941,520	886,484
資産合計	2,197,247	2,444,878

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当連結会計年度 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	116,196	145,019
短期借入金	400,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	203,810	198,840
1年内償還予定の社債	7,100	7,100
未払金	70,797	72,067
未払法人税等	8,520	17,431
未払費用	114,274	118,135
賞与引当金	11,977	452
資産除去債務	10,000	10,000
その他	123,042	90,333
流動負債合計	1,065,718	1,009,379
固定負債		
社債	14,500	7,400
長期借入金	683,185	906,521
リース債務	9,510	2,342
退職給付に係る負債	63,132	70,819
資産除去債務	17,272	17,532
固定負債合計	787,601	1,004,615
負債合計	1,853,319	2,013,995
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	142,056	142,056
利益剰余金	194,188	275,968
自己株式	△228,633	△228,633
株主資本合計	320,851	402,630
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△32	△9
その他の包括利益累計額合計	△32	△9
非支配株主持分	23,109	28,262
純資産合計	343,927	430,883
負債純資産合計	2,197,247	2,444,878

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
売上高	5,344,082	5,348,516
売上原価	4,590,473	4,563,358
売上総利益	753,608	785,158
販売費及び一般管理費	912,033	812,430
営業損失(△)	△158,425	△27,272
営業外収益		
受取利息及び配当金	120	175
受取賃貸料	1,254	1,048
補助金収入	8,090	132,686
為替差益	3,720	800
その他	6,939	6,159
営業外収益合計	20,126	140,870
営業外費用		
支払利息	8,802	11,230
その他	2,283	1,793
営業外費用合計	11,086	13,024
経常利益又は経常損失(△)	△149,386	100,573
特別損失		
固定資産除売却損	8,305	469
災害による損失	9,177	-
減損損失	25,951	1,331
投資有価証券評価損	-	1,802
特別損失合計	43,433	3,602
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△192,819	96,970
法人税、住民税及び事業税	7,446	27,822
法人税等還付税額	-	△17,784
法人税等調整額	22,670	0
法人税等合計	30,117	10,038
当期純利益又は当期純損失(△)	△222,937	86,932
非支配株主に帰属する当期純利益	-	5,152
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△222,937	81,779

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△222,937	86,932
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	23
その他の包括利益合計	△13	23
包括利益	△222,950	86,955
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△222,950	81,802
非支配株主に係る包括利益	-	5,152

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	213,240	142,056	429,274	△228,633	555,936
当期変動額					
剰余金の配当			△12,148		△12,148
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△222,937		△222,937
連結範囲の変動			-		-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△235,085	-	△235,085
当期末残高	213,240	142,056	194,188	△228,633	320,851

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△19	△19	-	555,916
当期変動額				
剰余金の配当				△12,148
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△222,937
連結範囲の変動				-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△13	△13	23,109	23,096
当期変動額合計	△13	△13	23,109	△211,988
当期末残高	△32	△32	23,109	343,927

当連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	213,240	142,056	194,188	△228,633	320,851
当期変動額					
剰余金の配当			-		-
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			81,779		81,779
連結範囲の変動			-		-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	81,779	-	81,779
当期末残高	213,240	142,056	275,968	△228,633	402,630

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△32	△32	23,109	343,927
当期変動額				
剰余金の配当				-
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)				81,779
連結範囲の変動				-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	23	23	5,152	5,175
当期変動額合計	23	23	5,152	86,955
当期末残高	△9	△9	28,262	430,883

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△192,819	96,970
減価償却費	60,955	51,675
災害による損失	9,177	-
減損損失	25,951	1,331
のれん償却額	-	1,668
投資有価証券評価損益(△は益)	-	1,802
補助金収入	△8,090	△132,686
貸倒引当金の増減額(△は減少)	185	△7,941
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,664	△11,525
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,803	7,686
受取利息及び受取配当金	△120	△175
受取賃貸料	△1,254	△1,048
支払利息	8,802	11,230
固定資産除売却損益(△は益)	8,305	469
売上債権の増減額(△は増加)	130,782	△71,982
たな卸資産の増減額(△は増加)	5,347	335
仕入債務の増減額(△は減少)	△29,757	28,822
その他	△13,468	△37,082
小計	14,466	△60,450
利息及び配当金の受取額	132	175
賃貸料の受取額	1,254	1,048
補助金の受取額	8,090	132,686
災害による損失の支払額	△8,633	-
利息の支払額	△9,338	△11,314
法人税等の支払額	△9,434	△20,461
法人税等の還付額	5,191	16,138
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,729	57,822

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,487	-
貸付金の回収による収入	383	243
有形及び無形固定資産の取得による支出	△84,561	△12,893
有形及び無形固定資産の売却による収入	10,399	531
保険積立金の積立による支出	△18,621	△1,161
保険積立金の解約による収入	-	5,791
差入保証金の差入による支出	△9,922	△2,082
差入保証金の回収による収入	26,024	3,954
その他	△110	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△78,896	△5,627
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	330,000	△50,000
長期借入れによる収入	235,000	432,000
長期借入金の返済による支出	△297,576	△213,634
社債の償還による支出	△7,100	△7,100
配当金の支払額	△12,148	-
その他	△17,468	△16,019
財務活動によるキャッシュ・フロー	230,707	145,246
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	153,540	197,441
現金及び現金同等物の期首残高	625,380	778,921
現金及び現金同等物の期末残高	778,921	976,362

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により景気動向や雇用・所得環境の急激な変化を受け、今後の先行きに不透明感や停滞感が増してきております。当連結会計年度において、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済への影響が翌連結会計年度末まで続くとの仮定のもと、会計上の見積りを実施しております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響に関しては不確定要素が多く、翌連結会計年度以降の当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に冠婚葬祭の生花に係わる事業活動を展開している構成単位を集計し「生花祭壇事業」、「生花卸売事業」、「ブライダル装花事業」の3つを報告セグメントとしております。

各事業の概要は下記のとおりであります。

生花祭壇事業 : 生花祭壇、供花等、葬儀における生花を使用した商品を作成して販売する事業

生花卸売事業 : 自社の祭壇事業で使用する生花の仕入及び葬儀関連会社の生花部や生花小売店に対して、生花を販売する事業

ブライダル装花事業 : 婚礼用の会場装花やブーケ制作をして販売する事業

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	3,035,625	1,522,460	334,160	4,892,246	451,836	—	5,344,082
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,610	782,595	2,028	792,234	30,656	△822,891	—
計	3,043,235	2,305,056	336,188	5,684,480	482,492	△822,891	5,344,082
セグメント利益 又は損失(△)	250,551	18,180	△26,966	241,766	△15,741	△384,450	△158,425
その他の項目							
減価償却費	13,012	772	3,274	17,059	17,999	25,896	60,955
のれんの償却額	—	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	22,985	705	21,302	44,992	43,352	1,354	89,698

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業並びに農業であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△384,450千円には、セグメント間取引消去51,667千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△436,118千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
4. 事業セグメントに資産を配分していないため、セグメント資産の開示を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	3,060,606	1,593,539	242,850	4,896,997	451,519	—	5,348,516
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,934	815,309	2,307	825,551	42,403	△867,954	—
計	3,068,541	2,408,849	245,157	5,722,548	493,922	△867,954	5,348,516
セグメント利益 又は損失(△)	243,283	30,573	△62,871	210,985	△8,072	△230,185	△27,272
その他の項目							
減価償却費	6,261	1,070	3,979	11,311	19,328	21,035	51,675
のれんの償却額	1,668	—	—	1,668	—	—	1,668
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	3,314	1,060	—	4,374	11,226	1,072	16,673

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業並びに農業であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△230,185千円には、セグメント間取引消去55,466千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△285,651千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
4. 事業セグメントに資産を配分していないため、セグメント資産の開示を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	24,695	—	—	1,256	—	25,951

当連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	176	—	—	1,154	—	1,331

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	その他	全社・消去	合計
当期末残高	11,680	—	—	—	—	11,680

のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	その他	全社・消去	合計
当期末残高	10,011	—	—	—	—	10,011

のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
1株当たり純資産額	79円23銭	99円43銭
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△55円05銭	20円20銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失 (△)(千円)	△222,937	81,779
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(千円)	△222,937	81,779
期中平均株式数(株)	4,049,448	4,049,448
希薄化効果を有しないため、潜在株式 調整後1株当たり当期純利益の算定に 含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。